



Race Report

2018 AUTOBACS SUPER GT Round 6
SUGO GT 300km RACE
2018.9.15 Sat~9.16 Sun

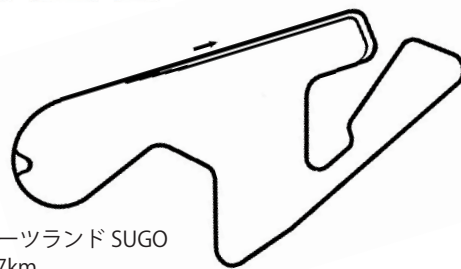
HOSHINO RACING

手負いのマシンをいたわりながら3位表彰台を獲得!

No.12 カルソニック IMPUL GT-R

佐々木 大樹 / ヤン・マーデンプロー

このたびの台風21号および平成30年北海道胆振東部地震により、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されますよう心よりお祈り申し上げます。



スポーツランド SUGO
3.737km

9/15 (土) 公式予選

天候：曇り コース：ドライ

気温/路面温度：Q1 開始 23℃ / 25℃

SUPER GT第6戦、「SUPER GT 300km RACE」が、宮城県のスポーツランドSUGOで開催されました。コースサイドの豊かな緑に、色とりどりのレーシングマシンが映えます。スポーツランドSUGOはテクニカルなレイアウトにもかかわらず熱いバトルが期待できるサーキットです。セーフティカーが入るようなレースが毎年のように展開され、「魔物がいるサーキット」とも言われています。予選日は時折雨が交じる曇天でしたが、決勝日は心地の良い秋晴れに恵まれました。

曇天の朝から始まった予選日。午前9時から始まった公式練習は途中で雨が降り出し、コースはウェットコンディションに。しかしその後小降りになり、GT300クラス予選Q1のセッション中に徐々にコースが乾いていきました。またそのセッション中にクラッシュがあり、赤旗中断とガードレールの補修を要したため、スケジュールに遅れが生じます。GT500クラスの予選は約20分遅れ、14時52分にスタートすることになりました。

コースはドライ。ノックアウト予選方式のQ1は今回から10分間に短縮され、参加全15台が8台にしばられます。セッション開始から約1分後、ヤン・マーデンプローの駆るカルソニック IMPUL GT-Rがゆっくりとピットから出て、アタックに向かいました。彼に続くように、他のマシンも続々とコースインしていきます。

タイヤが温まるにつれ、各車がタイムアップしていくなか、セッションタイムが1分50秒を切ったところで、マーデンプローは1'11.043のトップタイムをマーク。その約10秒後にNo.39 DENSO KOBELCO SARD LC500 (ヘイキ・コバライネン選手) がSPコーナーの2つめでクラッシュし、セッションが赤旗中断となりました。車両回収後、残り2分45秒で再開されましたが、カルソニック IMPUL GT-Rは2位でQ2へと進出しました。

GT300のQ2セッションをはさんで迎えたGT500クラスのQ2。10分間のセッションが始まって各チームしばらく動きません。1分40秒が経過したところで、カルソニック IMPUL GT-Rが各チームに先駆けてコースイン。アタックドライバーは佐々木大樹。しっかりとタイヤを温めます。

残り時間3分30秒を切ったあたりで、各車が続々と全力のアタックに入りだします。残り2分16秒、No.8 ARTA NSX-GT (野尻智紀選手) が1'10.352のコースレコードでトップに立ちました。その約30秒後、佐々木がそのレコードタイムを上回る1'10.286でコントロールラインに飛び込みます! しかし続けてホームストレートにやってきたNo.100 RAYBRIG NSX-GT (山本尚貴選手) がなんと1'10.248のタイム! 0.018秒という僅差でポールポジションを逃してしまいました。

終わってみれば予選トップ5のうち4台がNSX。そんななかカルソニック IMPUL GT-Rが2番手につけて気を吐きました。

9/16(日)決勝レース

天候：晴れ コース：ドライ

気温／路面温度／湿度：26℃／37℃／51%

決勝レース距離 3.704km×81Laps=300.024km

観客動員数：28,500人



決勝日は朝から爽やかな秋晴れ。サーキットを訪れた2万8500人ものファンの皆さんにとっても絶好のレース観戦日和となりました。各メーカーはブースを出展し、ドライバートークショーやピットウォークも開催されて会場をさらに盛り上げます。

予定通りの14時に、白バイとパトカーに先導されるパレードラップが始まりました。パレードラップを終え、先導が宮城県警からペースカーに代わってフォーメーションラップへ。緊張感が一気に高まります。ペースカーがピットロードに入り、コントロールラインのグリーンシグナルが点灯した14時5分40秒、レースがスタート!

カルソニック IMPUL GT-Rのスタートドライバー、ヤン・マーデンプローはいいスタートを決めましたが、トップのNo.100 RAYBRIG NSX-GT(山本尚貴選手)も好スタートを決めたため、追いつくまでには至りません。先頭集団はクリーンなスタートを決め、それぞれ順位を変えぬまま1コーナーに飛び込みます。トップはNo.100 RAYBRIG NSX-GT、2位にマーデンプロー、3位にNo.8 ARTA NSX-GT(伊沢拓也選手)と順位に変動がないまま迎えた8周目。GT300クラスの集団に飲み込まれたマーデンプローはNo.8 ARTA NSX-GTに差を詰められ、9周目の1コーナーで前に出られてしまいます。2コーナーで巻き返しを図りますが、GT300の車両にひっかり前に出ることができません。3位に落ちてしまいましたが、虎視眈々と巻き返しを狙います。

2位と1~2秒の差でつかず離れず周回を重ねましたが、14周を終えた時点では1秒以内の接近戦に持ち込みます。0.872秒、0.766秒、0.409秒と18周目にはテールトゥノーズに迫りました。続く19周目、マーデンプローはバックストレート手前のレインボーコーナーでNo.8 ARTA NSX-GTのインに飛び込み2位を奪還! さらに上を目指してスパートをかけます。20周目、21周目と1位との差を詰めていった23周目、1コーナーでNo.100 RAYBRIG NSX-GTの前に出てついにトップに立ちました!

その後は2位と1~2秒の差をおおむね保ちながら快調に周回を重ねます。後続のマシンでは28周目にNo.1 KeePer TOM'S LC500がピットインしたことを皮切りに、ドライバー交代とタイヤ交換、給油といった通常のピットインで各チームのピットが忙しくなっていきます。No.100 RAYBRIG NSX-GTも34周を終えた時点でピットインしました。





マーデンプローはその後も周回を重ね、38周を終えて佐々木大樹にバトンタッチ。実質上のトップ争いをしているNo.100 RAYBRIG NSX-GT(ジェンソン・バトン選手)の前に出ることは成功しましたが、ピットアウト直後の温まっていないタイヤでは防戦することもままなりません。ハイポイントコーナーで真後ろにつかれると、レインボーコーナーで前を譲らざるを得ませんでした。

佐々木はもちろんあきらめません。タイヤが温まるとNo.100 RAYBRIG NSX-GTとの差を詰め出し、43周を終えた時点で1.145秒にまで迫りました。逆転は時間の問題と思われた44周目。GT300の処理に手間取ってしまい、その差を2.746秒に広げられてしまいます。その差を詰めようとした45周目の最終コーナーでタイヤカスに乗り、外側にふくらんでコースオフ！コースには復帰できたもののタイヤやバンパー開口部にたくさんの草を拾ってしまいました。トップとは一気に8秒586の差がついてしまいます。

それでも佐々木は46周終了時点で11.245秒まで広げられた差を51周目に入るところには8.960秒にまで縮めていました。しかし追い上げはここまで。コースオフが原因でエンジンの冷却とブレーキの効きが悪くなっていたのです。トップには差を広げられ、後ろからはNo.8 ARTA NSX-GT(野尻智紀選手)が追いついてきました。56周目に0.724秒差に詰め寄られると、57周目の1コーナーでインを差されて3番手になってしまいます。そして気付けば4番手のNo.38 ZENT CERUMO LC500(石浦宏明選手)にまで迫られていました。表彰台をかけた佐々木の新たな奮闘が始まります。

57周目から63周目までギャップ1~2秒台での激しい攻防が続けられました。64周目からはテールトゥノーズのバトルとなり、一瞬の隙も許されません。佐々木はトラブルを抱えたマシンを労りながらもNo.38 ZENT CERUMO LC500を抑え続けます。そして69周目、コースアウトしていたGT300車両を回収するため、セーフティカーが入りました。

回収を終え、再スタートとなったのは76周目。最後の最後でたった6周の超スプリントレースとなったのです。するとここで5番手のNo.16 MOTUL MUGEN NSX-GT(中嶋大祐選)が好スタートを切り、一気に3番手へのジャンプアップを狙ってきました。No.38 ZENT CERUMO LC500を1コーナーの飛び込みでかわして、佐々木に襲いかかろうとしますが勢い余ってオーバーラン。順位は変わらず。その後2台がコースオフしてクラッシュしますが、再びセーフティカーが入ることはありませんでした。カルソニック IMPUL GT-Rの佐々木も3位を死守して見事チェッカー！傷ついたマシンを無事にゴールへと導きながら、表彰台を獲得することができました。

表彰台に登ることができて嬉しい反面、優勝できたレースを2戦連続して取りこぼしてしまったという悔しさはどうしても残ります。しかし今回のレースでカルソニック IMPUL GT-Rと2人のドライバーのスピードに絶大な自信を持つことができました。次戦の優勝を期して、更なる努力を積み上げます。いつも変わらない皆様からの暖かいご声援が今回も力になりました。ありがとうございます。

TEAM IMPUL NEXT Race Information

- SUPER GT 第7戦 10/20(土)~21(日)オートポリス
- 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦10/27(土)~28(日)鈴鹿サーキット

www.impul.co.jp



@IMPUL_official



IMPUL.official





2018 年 協賛会社様



ドライバーからのコメント



佐々木 大樹
Daiki Sasaki

カルソニックTEAM IMPULに移籍して初表彰台でした!!
攻めすぎて、飛び出してしまう、そこからはさまざまなトラブルとの戦いでしたが、3位を死守できました。
監督、ヤン、チーム、ファンの皆さんには申し訳ない気持ちです。しかし、表彰台という結果、流れを変えられたので、次戦も攻めます!!



ヤン・マーデンボロー
Jann Mardenborough

ちょっと悔しい3位でしたが、GT500で初めての表彰台、よかったです。次も頑張ります。



9/15(土) 公式予選

天候：曇り コース：ドライ

気温／路面温度：Q1 開始 23℃／25℃



■ Qualifying					2018.9.15		
Po	No	Machine	Driver	Q1	Q2	Tire	WH
1	100	RAYBRIG NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	山本 尚貴 ジェンソン・バトン	1'11.321	1'10.248 R	BS	80
2	12	カルソニック IMPUL GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	佐々木 大樹 ヤン・マーデンボロー	1'11.043	1'10.286 R	BS	36
3	8	ARTA NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	野尻 智紀 伊沢 拓也	1'11.360	1'10.352 R	BS	68
4	17	KEIHIN NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	塚越 広大 小暮 卓史	1'11.021	1'10.652	BS	76
5	16	MOTUL MUGEN NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	武藤 英紀 中嶋 大祐	1'11.474	1'10.803	YH	16
6	19	WedsSport ADVAN LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	国本 雄資 山下 健太	1'11.590	1'11.122	YH	30
7	38	ZENT CERUMO LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	立川 祐路 石浦 宏明	1'11.457	1'11.571	BS	60
8	24	フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	J.P.デ・オリベイラ 高星 明誠	1'11.862	1'12.872	YH	26
9	1	KeePer TOM'S LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	平川 亮 ニック・キャシディ	1'11.879		BS	94
10	36	au TOM'S LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	中嶋 一貴 関口 雄飛	1'11.954		BS	80
11	6	WAKO'S 4CR LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	大嶋 和也 F.ローゼンクヴィスト	1'12.207		BS	68
12	23	MOTUL AUTECH GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	松田 次生 ロニー・クインタレリ	1'12.263		MI	70
13	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	本山 哲 千代 勝正	1'12.816		MI	18
14	64	Epson Modulo NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	ベルトラン・バゲット 松浦 孝亮	1'14.549		DL	6
	39	DENSO KOBELCO SARD LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	ヘイキ・コバライネン 小林 可夢偉			BS	70

・タイヤ=BS：ブリヂストン／DL：ダンロップ／MI：ミシュラン／YH：ヨコハマ

・WH=ウェイトハンディキャップ(kg)

Q1 Start Time 14:52'00 Finish Time 15:15'45 赤旗中断 15:00'28～15:13'00

Q2 Start Time 15:44'00 Finish Time 15:54'00



9/16(日)決勝レース

天候：晴れ コース：ドライ

気温／路面温度／湿度：26℃／37℃／51%

決勝レース距離 3.704km×81Laps=300.024km

観客動員数：28,500 人



■ Race (81Laps)							2018.9.16	
Po	No	Machine	Driver	Laps	Best Lap	Diff.(km/h)	Tire	WH
1	100	RAYBRIG NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	山本 尚貴 ジェンソン・バトン	81	1'13.807	1:52'08.765	BS	80
2	8	ARTA NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	野尻 智紀 伊沢 拓也	81	1'14.040	0.562	BS	68
3	12	カルソニック IMPUL GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	佐々木 大樹 ヤン・マーデンボロー	81	1'13.923	1.350	BS	36
4	16	MOTUL MUGEN NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	武藤 英紀 中嶋 大祐	81	1'14.209	1.693	YH	16
5	38	ZENT CERUMO LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	立川 祐路 石浦 宏明	81	1'13.598	3.304	BS	60
6	24	フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	J.P.デ・オリベイラ 高星 明誠	81	1'13.888	5.188	YH	26
7	23	MOTUL AUTTECH GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	松田 次生 ロニー・クインタレッリ	81	1'14.467	5.579	MI	70
8	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	本山 哲 千代 勝正	81	1'14.875	6.772	MI	18
9	17	KEIHIN NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	塚越 広大 小暮 卓史	81	1'14.471	10.304	BS	76
10	39	DENSO KOBELCO SARD LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	ヘイキ・コバライネン 小林 可夢偉	81	1'15.071	11.674	BS	70
11	6	WAKO'S 4CR LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	大嶋 和也 F.ローゼンクヴィスト	81	1'14.990	44.424	BS	68
12	36	au TOM'S LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	中嶋 一貴 関口 雄飛	81	1'15.241	57.033	BS	80
13	64	Epson Modulo NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	ベルトラン・パゲット 松浦 孝亮	77	1'14.558	4 Laps	DL	6
14	1	KeePer TOM'S LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	平川 亮 ニック・キャシディ	76	1'15.269	5 Laps	BS	94
	19	WedsSport ADVAN LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	国本 雄資 山下 健太				YH	30

・タイヤ=BS：ブリヂストン／DL：ダンロップ／MI：ミシュラン／YH：ヨコハマ
・WH=ウェイトハンディキャップ(kg)

Start Time：14:05'40

Finish Time：15:57'48

セーフティカー 15:34'56～15:50'12



RANKING

■ Driver ranking

Po	No	Driver	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	WH
1	100	山本 尚貴 ジェンソン・バトン	15	2	15		8	21			61	-	61
2	8	野尻 智紀 伊沢 拓也		3	21		10	15			49	-12	49
3	1	平川 亮 ニック・キャッシュ	11	4	11	3	18				47	-14	47
4	17	塚越 広大 小暮 卓史	21			4	13	2			40	-21	40
5	36	関口 雄飛		8	6	1	25				40	-21	40
6	23	松田 次生 ロニー・クインタレッリ	6	20	5		4	4			39	-22	39
7	39	ヘイキ・コバライネン		15		20		1			36	-25	36
8	38	立川 祐路 石浦 宏明	3	12	3	8	4	6			36	-25	36
9	6	大嶋 和也 フェリックス・ローゼンクヴィスト	8	6		15	5				34	-27	34
10	36	中嶋 一貴			6	1	25				32	-29	40
11	12	佐々木 大樹 ヤン・マーデンボロー		5	8	5		11			29	-32	29
12	39	小林 可夢偉				20		1			21	-40	36
13	24	ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ 高星 明誠	5		2		6	5			18	-43	18
14	16	武藤 英紀 中嶋 大祐	1			7		8			16	-45	16
15	39	坪井 翔		15							15	-46	36
16	19	国本 雄資 山下 健太	2			11	2				15	-46	15
17	3	本山 哲 千代 勝正	4	1	4			3			12	-49	12
18	36	ジェームス・ロシター		8							8	-53	40
19	64	ベルトラン・バゲット 松浦 孝亮			1	2					3	-58	3

■ Team ranking

Po	No	Team	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	WH
1	100	TEAM KUNIMITSU	18	5	18	2	11	23			77	-	61
2	8	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	3	6	23		13	18			63	-14	49
3	1	LEXUS TEAM KeePer TOM'S	14	7	14	6	21	1			63	-14	47
4	36	LEXUS TEAM au TOM'S	3	11	9	3	28	3			57	-20	40
5	17	KEIHIN REAL RACING	23	1	3	7	16	5			55	-22	40
6	23	NISMO	9	23	8	2	6	7			55	-22	39
7	38	LEXUS TEAM ZENT CERUMO	6	14	6	11	7	9			53	-24	36
8	6	LEXUS TEAM LEMANS WAKO'S	11	9	3	18	8	3			52	-25	34
9	39	LEXUS TEAM SARD	3	18		23	2	4			50	-27	36
10	12	TEAM IMPUL	3	8	11	8	1	14			45	-32	29
11	24	KONDO RACING	8	1	5		9	8			31	-46	18
12	19	LEXUS TEAM WedsSport BANDO	5	1	3	14	4				27	-50	15
13	16	TEAM MUGEN	4	1		9	1	11			26	-51	16
14	3	NDDP RACING with B-MAX	7	3	7	2	1	6			26	-51	12
15	64	Epson Nakajima Racing	2		4	5	1	1			13	-64	3

